

NY マーケットレポート (2017年10月18日)

序盤に発表された米住宅着工件数が予想以上の悪化となり、2016年9月以来1年ぶりの低水準となった。ただ、一方で米長期金利の上昇を受けて日米の金利差拡大が意識されたことや、株価が堅調な動きとなったことが影響し、ドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。また、米地区連銀経済報告(ページブック)では、経済は勢いを増し、物価は穏やかな上昇にとどまったとされ、またハリケーンの影響で南部全域が深刻な混乱に陥る中でも経済活動は拡大したと報告された。ほぼ予想の範囲内の内容だったことから、マーケットの反応は限定的だった。

2017年10月18日(水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.52	112.53	112.14
EUR/JPY	132.33	132.36	131.98
GBP/JPY	148.29	148.30	147.90
AUD/JPY	88.13	88.18	87.96
EUR/USD	1.1761	1.1781	1.1748

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	21363.05	+26.93
ハンセン指数	28711.76	+14.27
上海総合	3381.79	+9.75
豪ASX200	5890.48	+0.87
インドSENSEX	32584.35	-24.81

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7542.87	+26.70
仏CAC40	5383.81	+22.44
独DAX	13043.03	+47.97

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23157.60	+160.16
S&P500	2561.26	+1.90
NASDAQ	6624.22	+0.56

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.92	113.05	112.75
EUR/JPY	133.18	133.28	132.48
GBP/JPY	149.10	149.11	148.41
AUD/JPY	88.62	88.63	88.29
EUR/USD	1.1794	1.1805	1.1744

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15782.16	-34.74
ボルサ指数	49938.98	-201.54
ホベスパ指数	76591.06	+389.81

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1283.00	-3.20
NY 原油	52.04	+0.16

10/19 経済指標スケジュール

08:50	【日本】9月貿易収支
09:30	【オーストラリア】3Q NAB企業信頼感指数
09:30	【オーストラリア】9月失業率
09:30	【オーストラリア】9月雇用者数
09:30	【オーストラリア】9月労働参加率
11:00	【中国】9月小売売上高
11:00	【中国】3Q実質GDP
11:00	【中国】9月鉱工業生産
11:00	【中国】9月固定資産投資
13:30	【日本】8月全産業活動指数
15:00	【スイス】9月貿易収支
15:00	【日本】9月工作機械受注
16:30	【スウェーデン】9月失業率
17:30	【香港】9月失業率
17:30	【英国】9月小売売上高指数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】10月フィラデルフィア連銀景況指数
23:00	【米国】9月景気先行指標総合指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.56%	1.55%
3年債	1.71%	1.68%
5年債	1.99%	1.96%
7年債	2.19%	2.15%
10年債	2.34%	2.30%
30年債	2.85%	2.80%

ドイツ10年債	0.40%	0.37%
英国10年債	1.32%	1.28%

10/19 主要会議・講演・その他予定

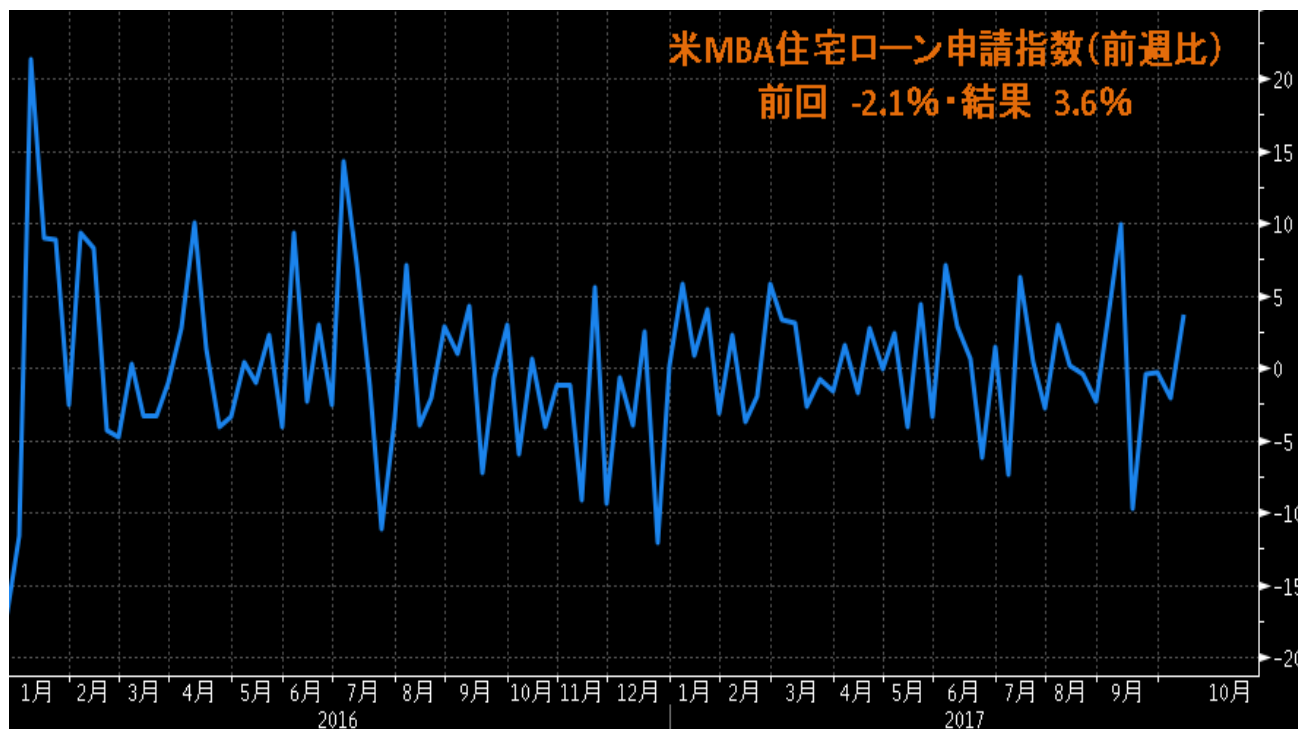
- ・ EU首脳会議(～20日)
- ・ 米30年TIPS債入札

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 3.6% (前回 -2.1%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	10/13	10/6	9/29	9/22	9/15	前年同期
申請指数	3.6	-2.1	-0.4	-0.5	-9.7	-20.5
購入	4.2	-0.1	1.0	2.8	-10.8	7.6
借換え	3.0	-4.2	-1.8	-3.5	-8.5	-37.9
固定金利	4.1	-2.7	0.1	-0.1	-9.7	-22.6
変動金利	-4.3	7.9	-8.1	-4.8	-9.1	28.2

固定金利 30 年	4.14	4.16	4.12	4.11	4.04
固定金利 15 年	3.45	3.44	3.42	3.38	3.35

21 : 25

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

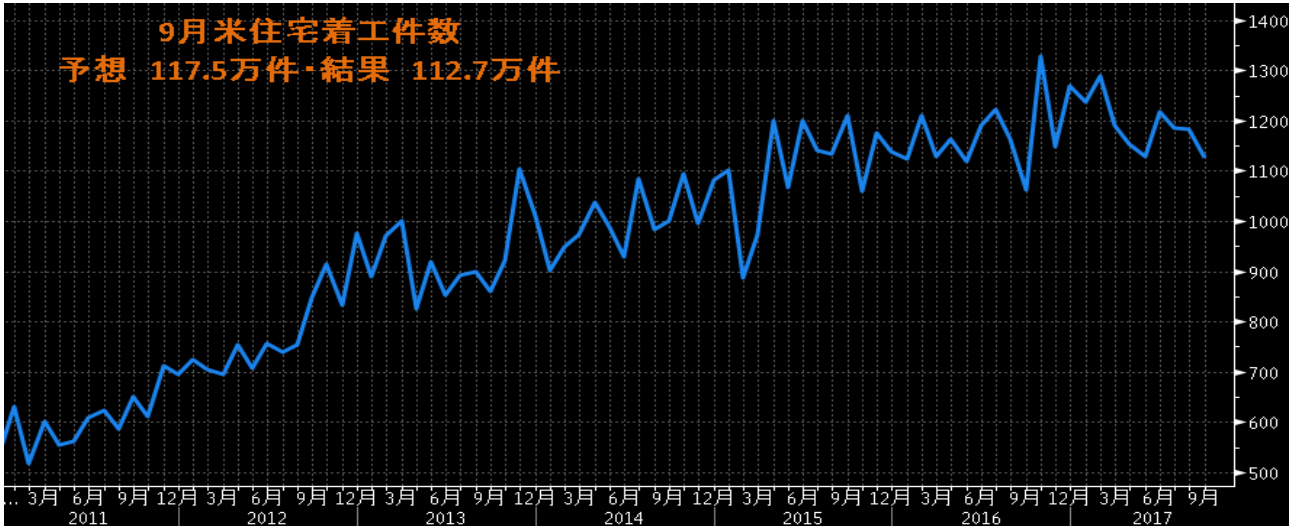
- ・「今年の米経済成長率、2.5%をやや下回る見通し」
- ・「FF 金利を 10 年債利回りまで上げることは消極的」

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米住宅着工件数 112.7万件（予想 117.5万件・前回 118.3万件）
 前回発表の118.0万件から118.3万件に修正

9月米建設許可件数 121.5万件（予想 124.5万件・前回 127.2万件）
 前回発表の130.0万件から127.2万件に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀米住宅着工・許可件数▶

	9月	8月	7月	6月	5月
住宅着工件数	112.7	118.3	118.5	121.7	112.9
一戸建て住宅	82.9	86.9	84.1	85.7	79.5
集合住宅	29.8	31.4	34.4	36.0	33.4
許可件数	121.5	127.2	123.0	127.5	116.8
一戸建て住宅	81.9	80.0	81.2	81.1	77.9
集合住宅	39.6	47.2	41.8	46.4	38.9
前月比 (%)					
住宅着工	-4.7	-0.2	-2.6	7.8	-2.2
住宅建設許可	-4.5	3.4	-3.5	9.2	-4.9

21 : 55

OPEC、9カ月の減産延長に前向きとの報道

22 : 15

◀ 要人発言 ▶

ダドリー・NY連銀総裁

・「2017年は3回の利上げが予想される」

23 : 05

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

・「これだけの低金利ではリスク志向が高まりかねない」
・「リスク・パリティ・ファンドの伸びを慎重に注視」

23 : 30

◀EIA 米在庫統計▶

原油在庫・・・573万バレル減少
ガソリン在庫・・・90.8万バレル増加
留出油在庫・・・52.8万バレル増加
クッシングの原油在庫・・・20.2万バレル増加

◀欧州株式市場▶

欧州株式市場は、企業業績の改善期待が広がったことを受けて、堅調な展開で始まった。また、米国株高も投資家心理を支えた。独DAX指数は取引時間中と終値ベースの最高値を更新した。



出所：Bloomberg

3 : 00

《米地区連銀経済報告》

- ・「成長ペースは緩慢ないし緩やか」
- ・「経済は進展、労働市場は広範囲でタイト」
- ・「賃金圧力は緩慢あるいは緩やか、労働市場はタイト」
- ・「物価圧力は依然穏やか、コスト転嫁は限定的」
- ・「小売り支出は緩やかに拡大、自動車と観光は増加」
- ・「アトランタなど3連銀が交通、エネルギー、農業分野などでのハリケーン被害を報告」

4 : 10

FRB 議長人事は数日以内に発表へ～サンダース大統領報道官

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.16 ドル高の 1 バレル=52.04 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、中東情勢の緊迫化への懸念に加え、米石油統計で原油在庫が 4 週連続で減少したことが支援材料となった。ただ、ガソリンと石油精製品の在庫が増加したことが嫌気されて売られる場面もあった。終値ベースでは、9/27 以来 3 週間ぶりの高値となった。



《米株式市場》

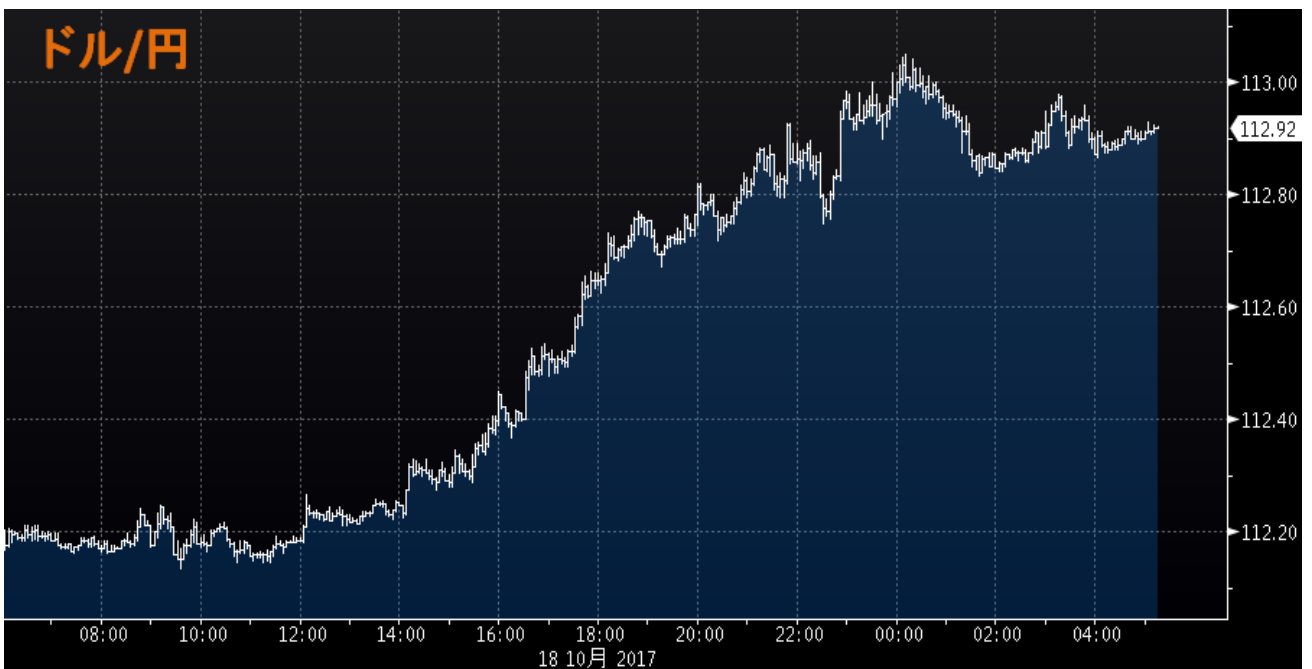
米株式市場は、IT 大手の 7-9 月期決算の内容が市場予想を上回ったことを受けて、主要株価は序盤から買いが優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きが続き、終盤には一時 8 営業日連続で取引時間中の過去最高値を更新する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米住宅関連の経済指標が予想以上の悪化となったものの、反応は限定的となり、米長期金利の上昇を受けて日米金利差拡大が意識され、ドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。